

科目名	世界史A	教科	地歴	単位数	2
教材	①明解世界史A(帝国書院) ②ダイアログ世界史図表(第一学習社)	教材費 (予定定価)		①680円 ②885円	

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	世界の歴史的事項の基本内容について理解を深め、世界史への関心を強める。 世界史の流れを理解し、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書や資料集の写真・地図を参考に基本事項の理解と関心を高める。 復習プリントを利用し、重要事項の把握と理解を行う。
評価方法	定期考査と、レポート提出の状況、授業中の発言、メモを取ることができているかなどの授業への取り組みを総合的に評価する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
【1学期】 人類の発生 四大文明 古代ギリシア・ローマ時代	古代世界成立の多様性を学習する。 プリントを利用し、四大文明の特徴を比較する。 ローマ帝国の成立とその特徴をまとめる。
【2学期】 イスラム世界の成立と拡大 大航海時代 アメリカ独立戦争	各地域の関わり合いの進展と混乱をたどる。 大航海時代が訪れた背景を学ぶ。 アメリカの独立を始め、社会の変容を理解する。
【3学期】 2つの世界大戦 現代の世界	2つの世界大戦とファシズムの台頭についての学習から、現代の世界の課題を探る。

評価の観点

関心・意欲・態度	世界の多様な歴史の枠組みと流れに対する関心と問題意識を高めている。 授業において積極的に発言し、歴史への関心を高めようとしている。
思考・判断・表現	世界史の流れを把握し、その因果関係についての理解や説明ができている。 課題レポートを正確にまとめ、自分の言葉で表現できている。
技能	歴史地図・年表・文献等から、歴史の流れや因果関係を読み取ることができている。
知識・理解	世界の多様性についての基本的な知識と、異文化に対する理解を深めている。

科目名	世界史B	教科	地歴	単位数	4
教材	①世界史B新訂版(実教出版) ②ダイアローグ世界史図表(第一学習社)		教材費 (予定定価)	①845円 ②継続使用	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	世界史に関心があり、広い視野で歴史的教養を身に付けたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	世界史の流れを理解し、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書や資料集の写真・地図を参考に基本事項の理解と関心を高める。 復習プリントを利用し、重要事項の把握と理解を行う。
評価方法	以下の各観点をもとに、レポートの内容、定期考査の結果、授業中の発言内容・メモの取り方などの積極的な授業態度を総合的に評価する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
先史の世界 オリエントと地中海世界 アジア・アメリカの古代文明 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 イスラーム世界の形成と発展 ヨーロッパ世界の形成と発展 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 アジア諸地域の繁栄 近世ヨーロッパ世界の形成と展開 近世ヨーロッパ世界の形成と展開 近代国民国家の発展 帝国主義とアジアの民族運動 二つの世界大戦 冷戦と戦後世界の変容	授業は講義形式で行い、板書またはプリントを通して、世界史内容を習得する。 視聴覚教材や資料等を活用して、歴史内容を深く理解する。

評価の観点

関心・意欲・態度	世界の多様な歴史の枠組みと流れに対する関心と問題意識を高めている。
思考・判断・表現	世界史の流れを把握し、その因果関係についての理解や説明ができています。
技能	歴史地図・年表・文献等から、歴史の流れや因果関係を読み取ることができています。
知識・理解	世界の多様性についての基本的な知識と、異文化に対する理解を深めている。

科目名	日本史A		教科	地理歴史	単位数	2
教材	①高校日本史A(7実教 日A309) ②写真資料館 日本史のアーカイブ(とうほう)			教材費 (予定定価)	①660円 ②915円	

共通履修科目	選択する学年	2
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	幕末以降の日本の歴史を学習することを通して、現代の日本社会形成の経過と、近隣諸国などとの関係について認識を深める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・資料集・ノート・授業プリントなどを用いて教科書の内容を具体的に展開し、実部教材や視聴覚教材を用いて歴史的関心を広げる。
評価方法	定期考査と授業への取組の様子などから総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) ・近代への転換 ・大日本帝国の形成 ・大日本帝国の展開	幕末から明治時代の変革・変容を、諸外国との関係とともに学習する。
(2学期) ・両大戦間の世界と日本 ・15年戦争と日本・アジア	20世紀前半の内政と侵略戦争の経緯をたどり、社会の変容を学習する。
(3学期) ・戦後改革と高度経済成長 ・現代の世界と日本	戦後史の学習を通じて、現代の日本の成り立ちを学び、今後の課題を探る。

評価の観点

関心・意欲・態度	日本の近現代史に関心をもち、授業で積極的に発言するなど流れを理解しようとする姿勢が見られる。
思考・判断・表現	様々な歴史的出来事の因果関係をつかみ、それを自分の言葉で表現しようとしている。
技能	史料文献や歴史地図、新聞記事を使用して、歴史の流れや因果関係が読み取ることができる。
知識・理解	日本の近現代史に関する出来事や用語などの知識を理解している。

科目名	日本史B	教科	地歴	単位数	4
教材	①高校日本史B(実教出版)、②新詳日本史(浜島書店)		教材費 (予定定価)	①830円 ②939円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

○	自由選択科目	選択する学年	2
---	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	日本史に関心がある人。受験科目に必要な人。進学する専攻内容の基礎として必要な人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	日本史の教養や受験に対応する基礎力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・資料集・プリント等により学習する。
評価方法	以下の各観点をもとに、レポートの内容、定期考査の結果、授業中の発言内容・メモの取り方などの積極的な授業態度を総合的に評価します。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1. 原始・古代 旧石器時代～大和政権 飛鳥時代～国風文化	旧石器時代から古代国家の成立、貴族社会までを講義形式で学習する。
2. 中世 院政の時代～北条氏の専制 建武の新政～東山文化	武士の登場から鎌倉幕府・室町幕府の成立及び、中世の社会・文化について講義形式で学習する。
3. 近世 信長～鎖国 幕府政治の転換～天保の改革	戦国時代から江戸幕府成立及び、その後の幕府政治の展開について講義形式で学習する。
4. 近代 ペリー来航～大日本帝国憲法の制定 条約改正～大正デモクラシー 満州事変～日本の敗戦	近代国家の形成過程及び、その後の展開について講義形式で学習する。
5. 現代 日本占領～サンフランシスコ平和条約 主権回復後の日本	戦後日本の歩みについて講義形式で学習する。

評価の観点

関心・意欲・態度	歴史的な事象に関心をもっている。 日本史を学ぼうとする意欲や態度がある。
思考・判断・表現	教科書の内容を正しく把握している。 歴史的な事件の原因・結果・影響が理解できる。 上記の内容を、口答または文章でわかりやすく表現できる。
技能	歴史的な史料を正しく読解・理解できる。 日本史の教養が身につく、日常でも活用できる。
知識・理解	日本史の流れや時代のイメージを理解できる。 日本史理解に必要な知識を身に付けている。

科目名	地理A	教科	地歴	単位数	2
教材	①高校生地理A(帝国書院) ②地歴高等地図(帝国書院)		教材費 (予定定価)	①640円 ②1,728円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2年
------------------------------	--------	----

選択の条件	なし
選択のめやす	以下の条件に当てはまる人。 地理に興味がある、環境問題に興味がある、自然災害の被害を減らしたい、都市計画やまちづくりに興味がある、より良い社会をつかっていきたい、旅行が好き、地図を見るのが好き、知らない土地に行くワクワクする。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	地理学は、地域の特性を研究していく学問である。地形、気候、風土、文化といった諸々の環境が私たち人間の生活にどのように影響を及ぼしているのかを調べる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書や資料集の写真・地図を参考に基本事項の確認を行う。 プリントや視聴覚教材を利用し、重要事項への関心を高める。
評価方法	以下の各観点にもとづいて各学期の定期考査の結果、ノートの提出状況、レポートの内容などを総合的に評価する。

学習計画 (1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
旅からとらえる現代社会	情報通信・交通、地図、緯度経度、時差、国家、貿易について基礎的な事項を学習する。
世界の自然環境と文化	地形、気候、宗教・言語について学習する。
世界の諸地域の生活	中国、東南アジア、イスラム圏、ヨーロッパ、アメリカ合衆国、ラテンアメリカなどの地誌について学習する。
地球規模で広がる課題	人口、食料、都市環境などの課題について学習する。
身近にあるさまざまな地図	身近な地図について学習する。
日本の自然環境と防災	日本の地形と防災について学習する。
身近な地域の課題と地域調査	地域調査に出て、レポートにまとめる。

評価の観点

関心・意欲・態度	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。
思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、その地域性を多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を公正に判断する。
技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択・活用することで、地理的スキルを身に付けるとともに、追究した過程や結果を適切に表現する。
知識・理解	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄の追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。

科目名	世界遺産		教科	地歴	単位数	2
教材	①『きほんを知る世界遺産 44』世界遺産検定4級公式テキスト(マイナビ) ②『はじめて学ぶ世界遺産100』世界遺産検定3級公式テキスト(マイナビ)		教材費 (予定定価)		①1,026円 ②1,500円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

○	自由選択科目	選択する学年	2
---	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	地理、日本史、世界史などに興味をもつ人。 世界遺産を、紛争や開発、自然環境破壊から守り、次世代に残そうと思う人。 地球環境を守り、人々が互いに尊重しあう平和な世界をめざそうと思う人。 世界遺産検定4級・3級取得に挑戦する気持ちが強い人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	わが国と世界の伝統文化について興味関心を高める。 国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。 世界遺産検定4級・3級取得。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	テキストにより基本事項を学び、ワークシートや視聴覚教材によりさらに学習を深める。仕上げとして、検定問題に取り組み、検定受験にも対応する。
評価方法	評価については、以下の各観点に基づき、各学期の定期考査、レポート、ノート提出、発表などを総合的に判断します。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
【1学期】世界遺産の概要、日本の世界遺産1 ※ 夏休みの宿題 例 世界遺産見学レポート	テキストに沿って学習を理解する。ノートをとる。 学習内容について、意見発表する。
【2学期】日本の世界遺産2 世界の世界遺産	小テストや検定問題に取り組み、合格への対策をする。
【3学期】世界遺産に関する発表準備、発表	関連する時事問題も取り扱う。

評価の観点

関心・意欲・態度	世界遺産は、歴史や自然環境だけでなく、文学や芸術、神話、建築、政治、観光などの多様性をもっている。そのことに関心を持ち、興味を抱ける。
思考・判断・表現	世界遺産の多様な背景について、多角的に思考できるか。世界遺産がもつ課題を見だし、どのように解決できるか考えられるか。また、簡単な英語でも説明できる。
技能	学んだ内容を様々な資料を用いて発表、表現できる。
知識・理解	日本文化・歴史を再認識し、世界にも視野を広げられるか。また、世界遺産を保護するため世界平和・自然環境保護も必要であることを理解できる。

科目名	世界史演習	教科	地歴	単位数	4
教材	授業がよくわかる世界史(中部日本教育文化会)		教材費 (予定定価)	473円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	世界史についてさらに探求したい人、また大学入試で世界史を必要とする人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	既習事項が確認できる問題集を教材とし、大学入試に対応できる基礎力を身に付ける。また、大学入試二次試験に相当する発展問題にも取り組む。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	講義で世界史Bの内容を振り返りながら、ワークやプリントなどを使用しながら大学入試などの実践問題にも取り組む。
評価方法	評価については以下の各観点をもとにレポート、定期考査の結果、ノートの提出状況等を総合的に評価します。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
先史の世界 オリエントと地中海世界 アジア・アメリカの古代文明 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 イスラーム世界の形成と発展 ヨーロッパ世界の形成と発展 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 アジア諸地域の繁栄 近世ヨーロッパ世界の形成と発展 近世ヨーロッパ世界の形成と発展 近代国民国家の発展 帝国主義とアジアの民族運動 二つの世界大戦 冷戦と戦後世界の変容	歴史の流れを示したワークを配布し、講義と演習問題を併用して、授業を進める。

評価の観点

関心・意欲・態度	世界史へ強い関心を持ち、より深く学ぼうとする意欲や態度を高めている。
思考・判断・表現	世界史学習を深め、問題演習においても、その成果を発揮している。
技能	資料・史料を深く考察し、適切な方法で表現している。
知識・理解	世界史の基本的な知識をもとに、歴史考察をすることができている。

科目名	日本史演習	教科	地歴	単位数	4
教材	①高校日本史B ②流れでわかる年表日本史		教材費 (予定定価)	①830円 ②802円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

○	自由選択科目	選択する学年	3
---	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	日本史についてさらに探求したい人、また大学入試で日本史を受験希望する人にとって必要な内容である。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	通常講義の他、入試対策問題集を教材とし、入試に対応できる基礎力を身に付ける。また、大学入試二次試験に相当する発展問題にも取り組む。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	講義やプリントで日本史B全般の内容を振り返る。また大学入試の実践問題に取り組むなど、自主的・意欲的に学習する。
評価方法	評価については以下の各観点をもとに、レポート、定期考査の結果、授業中の発言・メモの取り方などの積極的な授業態度を総合的に評価する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
近世 統一政権の成立 幕藩体制の成立 近代 大日本帝国の形成 大日本帝国の展開 現代 15年戦争と日本・東アジア 戦後改革と高度経済成長 現代の世界と日本 その他 通史として分野別の復習も行う	歴史の流れを図説したフローチャートのプリントを配布し、テーマ別に日本史の講義と演習問題を併用して授業を進める。 入試対策問題問題を教材として復習する。 過去に学習した分野でも、入試で出題頻度の高い分野や、文化史を中心とした分野にも取り組む。

評価の観点

関心・意欲・態度	我が国の歴史的形成過程に対する関心と課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。
思考・判断・表現	我が国の歴史的形成過程を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。
技能	図版・史料・地図・グラフ等の資料から有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身に付ける。
知識・理解	我が国の歴史的形成過程についての基本的な事項を理解するとともに、事象の因果関係・前後関係を正しく理解している。

科目名	世界と文化	教科	地歴公民	単位数	2
教材	①高等学校 新倫理 新訂版 ②自主プリント		教材費 (予定定価)	①465円 ②なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	世界の文化や哲学・宗教に興味をもっている人が対象となる。
選択のめやす	歴史に関心があること。特に文化に興味をもち、先哲の思想に興味があり、現在、自分の生き方を模索している人の履修が望ましい。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	自分を客観的に見つめ、自分の判断で責任をもって行動できる思考力を育成する。 論文の要点を理解し、文章に簡潔にまとめる力を育成する。 異文化理解を深め、自分と異なる意見にも理解を示し尊重する態度を育成する。 他人のものの見方を参考に自分の考え方を形成し、それを他人と話し合える能力を育てる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	講義・演習とディスカッション形式が中心の授業である。 資料集・プリントを活用し、レポートの作成の仕方を身に付ける。 作成したレポートの発表などの参加型学習も取り入れる。
評価方法	期末考査や活動の様子、提出物の状況などから総合的に判断する。

学習計画 (1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
現代に生きる自己の課題	人間とは何か、青年期の課題について、プリントで学習する。
人生における哲学	ギリシャ思想(ソクラテス・プラトンの思想)について学習する。
人生における宗教	キリスト教、イスラーム教について学習する。
仏教(仏陀の生涯とその思想)	仏陀の思想、仏教のその後の展開について学習する。
日本の仏教(鎌倉仏教の内容について)	仏教の移入から土着化までを学習する。
イスラーム教(ムハンマドの生涯とその思想)	世界最大宗教イスラーム教について、異文化を理解する意義を話し合う。
日本文化と国学	古典美の再発見、国学について学習する。
西洋現代思想の受容	現代をいかに生きるかについて話し合う。

評価の観点

関心・意欲・態度	様々な思想を学び、それに対する意見や感想をどのように表現した。また、自らの生き方に生かしていこうとする意欲や姿勢を有している。
思考・判断・表現	様々な思想を学び、その倫理と時代背景を考察することができた。また、自らの生き方について結びつけて表現することができる。
技能	様々な思想を自らの言葉で簡潔に説明することができた。また、哲学的専門用語を使って、的確に表現する技能を高めることができる。
知識・理解	思想や文化を歴史の中で、どのようにとらえ理解できる。